

西サハラ全国スピーキングツアー2023 in 札幌

難民キャンプで願う祖国の平和と自由 ファトマ・ブラーヒームさん札幌講演会

難民キャンプに生まれ育った「サハラウィ」(西サハラの人びとは自らをそう呼ぶ)として、
西サハラの問題をどう学び、いかにして民族運動に参加するようになったのか。
難民の若い世代はどんな未来を展望しているのか。
難民キャンプはいかなる問題を抱えているのか。そして国際社会に何を望むのか。
この講演では、これらのことについて当事者から話を聞きます。

2023年11月10日(金) 18:30-21:00 (18:00開場)

札幌エルプラザ・4階中研修室

(札幌市北区北8条西3丁目・札幌駅北口地下歩道直結)

参加費(資料代) 800円

共催：清末愛砂研究室・日本平和学会北海道東北地区研究会
北海道平和運動フォーラム・さっぽろ自由学校「遊」

FRIDAY

11/10

18:30-21:00



ファトマさん

お話：ファトマ・ブラーヒームさん

アルジェリア・チンドーフのサハラウィ難民キャンプに生まれ育つ。オラン第一大学人文・イスラーム学部メディア・コミュニケーション学科卒業、同大学院視聴覚学専攻修士課程修了。難民キャンプでイタリアの開発NGOに勤務しながら、西サハラ学生連合(UESARIO)外交委員会アフリカ担当として活動している。モロッコが築いた分離壁「砂の壁」に抗議するグループ「壁に向かって叫ぶ(Shout against the Wall)」のメンバー。アラビア語、スペイン語、英語を使える。好きなことは読書、外国語、旅行。新しいことを学び、体験したい。

進行・解説

松野明久(西サハラ友の会)

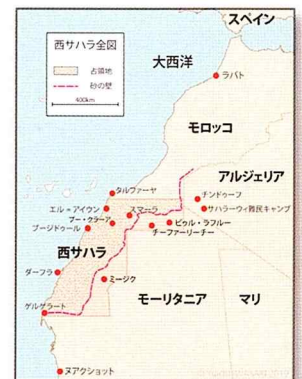
通訳

清末愛砂(室蘭工業大学大学院教授)

西サハラとは?

＜アフリカ最後の植民地＞西サハラは1975年、スペインからの独立過程でモロッコに侵略され、以来その80%が占領下にあります。国連は1991年に住民投票の実施を決めましたが、モロッコのサボタージュと大国の思惑によって実現していません。アルジェリアの難民キャンプに拠点を置くサハラウィ(西サハラの人びと)は「サハラ・アラブ民主共和国」の樹立を宣言し、モロッコの占領下に暮らすサハラウィは激しい弾圧を受けながらも非暴力の抵抗運動を続けています。難民キャンプには約17万人が暮らし、住民投票を経て、解放された祖国に帰れる日を待ち望んでいます。そのためには世界の市民の声が必要です。西サハラ問題について詳しくお知りになりたい方は、以下の西サハラ友の会のウェブサイトをご覧ください。<https://fwsjp.org/>

※本講演は市民の団体「西サハラ友の会」の協力をえて行われます。ファトマさんは札幌の他、盛岡、仙台、東京、名古屋、京都、大阪、広島、福岡などでも講演が予定されています。



参加申込
お問合せ



<https://onl.la/wrACC8i>

E-mail: m.sasaoka@let.hokudai.ac.jp (笹岡正俊)

*定員に余裕がありましたら、当日会場受付も可能です。